

重点事業の進捗状況

【地域交流のつどい・サロン活動の支援:P69】 ○(一部未実施) → 充実

高齢者サロンを中心に、子育てサロン(1か所)、多世代サロン(1か所)含めて、これまでに 31 のサロンが立ち上がりました。(1 小学校区に平均 5 サロン)

本事業の特色として、「茶話会には行きたくないが、麻雀であれば行きたい」などのニーズにも対応するため、趣味の活動を行う団体に対しても助成しており、茶話会や体操、グラウンドゴルフ、パン作り、手芸、麻雀、カラオケなど多様なサロンが誕生しました。サロン活動を通して、閉じこもり防止だけでなく、倒れている方の緊急搬送につながったケースや、自治会とつながりを持つことができたサロンもありました。

また、民生委員・児童委員が、見守り対象者であるひとり暮らし高齢者を対象とし、見守りを兼ねたサロンや、CSW が福祉に関する講話をし、その後相談を受けているサロンもあります。今後は、子育てサロンや障がい児・者サロンの立上げも積極的に促していきます。

【「見守りサポーター ながくて」養成事業:P68】 ○(一部未実施) → 充実

2か年で初級講座を 22 回(474 名)、中級講座を 4 回(83 名)、上級講座を 2 回(36 名)実施し、「見守りサポーター ながくて」を養成しました。上級サポーターのみ、計画の 50 人を養成することができませんでした。換算すると 1自治会に平均5人の初級サポーターを、1小校区に平均6名の上級サポーターを養成したことになります。

初級講座は、各ボランティア団体、大学、自治会などに機会をいただいたり、市内のイベントなど地域に出向いて開催したりしています。

上級受講者には、訪問による見守りを依頼しており、現在 6 ケース、11 人の上級サポーターが見守り活動を行っています。内容としては、介護保険サービス利用日以外の見守り、精神疾患の方の不安軽減のための訪問、近隣トラブル緩和のための訪問、徘徊高齢者の見守りなどで、制度の狭間をうめるような活動を社協より依頼しています。上級サポーターが気付いた福祉サービス利用拒否者に対しては、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)と地域住民とで見守り体制を構築したケースもあります。今後においては、次の地区社協における、部会の推進役としても協力を求めています。

【地区社協設置事業(CSWの設置):P67】 ○(一部未実施) → 充実

北、西、市が洞小学校区を単位とし、平成 26 年から、民生委員・児童委員や地域住民の方を対象に合計 52 回(延べ 573 人参加)の地域福祉学習会を行い、地区社協設立に向けて地域の課題を共有してきました。そして、北、西、市が洞小学校区でそれぞれ平成 27 年 6、7、8 月に地区社協を設立しました。その後は、毎月運営委員会を開催し、チラシ配布や困っている方の早期発見の仕組みを考えたり、地域でできる取組みなどを検討しています。例えば、西の地区社協では、夏休み中に子どもサロンを実施し延べ 83 人に食事を提供し、食事後の宿題教室では述べ 31 人に学習支援を行いました。そこから、ひきこもりの相談に至ったケースもありました。

また、部会においては、①認知症予防、②閉じこもり・ひきこもり防止、③子育て不安軽減の3つのテーマを中心に集会所などで地域福祉学習会を行い、講話と相談会を実施しています(合計 24 回、延べ 197 人参加:地区社協設立後の累計)。

これらの取組みにより、CSWの相談実件数の月平均は、北小学校区 59 件、西小学校区 81 件(平成 27 年度)となっております。その中には、動物の多頭飼育、ごみ屋敷、ひきこもり、家族不和、支援拒否、近隣トラブルなど、これまで制度の狭間にあった課題に対して、関係機関と連携し対応することが可能となりました。

今後、3つの重点事業を総合的に進め、より重層的、包括的に地域福祉を推進していくことで、当事者を含めた、地域住民を巻き込んだ地域包括ケアシステムを構築していくことができると考えています。

地区社協

- ・地域福祉学習会の実施
認知症予防、子育て不安軽減、
閉じこもり・ひきこもり防止、など
- ・地区社協だより配布
- ・個別訪問(アウトリーチ)

見守りサポーター

- ・初級:声かけ・あいさつ
- ・中級:サロン活動支援・
地区社協の学習会参加
- ・上級:訪問を含めた見守り・
地区社協の中心的役割

サロン

- ・市内31サロン
高齢者、子育て親子、多世代交流、など
- ・サロンでの福祉講話と相談
- ・CSWや見守りサポーターによる
定期訪問

住民同士による 早期発見の目

ちょっと話を聞いてほしい...

ひきこもり

不登校

ご近所
トラブル

ごみ屋敷

精神疾患

SOSが出せない...

家族不和

発達障がい

自殺企図

支援拒否

CSW

地域の身近な「なんでも相談員」として、
子どもから高齢者、障がい者など様々な方の相談に応じている

北小学校区:約60件/月 西小学校区:約80件/月

3,300世帯ある西で
は、年間約1,000件
の相談に対応